



古町花街 — その伝統と文化的価値 —

「古町花街」をテーマに、江戸・明治から続く新潟の花街文化と信濃川の関りについてお話しいただく講演会が開催されました。



日時：令和7年12月6日(土)15:00～16:00
 会場：燕市分水福祉会館
 人数：37名
 講師：古町花街の会事務局長 久保 有朋氏
 主催：NPO法人信濃川大河津資料館友の会



全国随一とされる新潟市の「古町花街」は、信濃川や日本海等の河川・海上交通と深い関りがあることをお話しいただきました。



古町花街は全国的にも有名で、多くの著名人が訪れたことや、多くの料亭や新潟芸妓の方々にヒアリングした独自の調査結果なども紹介いただきました。



講師の久保様。かつては、地蔵堂町〔現在の燕市分水地区〕にも大きな花街があり、河川交通や大河津分水工事の影響があったことなども教えてくださいました。



質疑では「古町花街に関する建物があつた場所を教えてください」「地蔵堂の芸妓についても教えてください」など多くの質問が寄せられました。

参加者の声



- 花街には料理を準備する店舗や芸妓さんが稽古する場所など、役割分担があることを知りました。
- 信濃川の河川交通や北前船の寄港地であったことが古町の繁栄に大きく影響したことを再認識できました。
- 地蔵堂の花街と大河津分水工事の関係についても、もっとお話を聞きたかったです。